



樫井川河口域の生き物調査の案内

例年、生き物調査は、「近木川」と「男里川」で実施してきたが、昨年はコロナの為、予定していた「近木川」と「男里川」での生き物調査が出来なくなり、貝塚市立自然遊学館の山田先生にご相談し、今まで実施したことのない「樫井川」でも、生き物調査が出来ると聞き、昨年度は「樫井川」で初めての調査を行いました。

今年度も、2回目となる「樫井川」での生き物調査を下記の要領で実施します。樫井川には、アマモの生えているところもありますのでタモ網を使い、そこに生息している生き物も調査をしたいと思います。

記

*日 時：2022年6月2日（木） 10時30分～15時30分

*集合場所・時間：南海・岡田浦駅改札出口・10時30分（岡田浦駅にトイレ有・コンビニ等無し・飲み物の自販機有）

*持ち物：飲み物、弁当、採取した生き物を入れるバケツ、濡れてもいい履物（カキの殻が沢山ある場所もあるので、ぞうりは良くない）・アマモ場では、水の中で生き物採取をするため、半パン・海パン
バット・バケツ・熊手など生き物調査に必要な物を持ち帰っている人は持ってきてください。

生き物の同定が出来る資料①「大阪湾男里川・近木川河口周辺に生きる貝」

②「近木川干潟再生地（汽水ワンド）の生き物たち」

③「泉南三河河口域 生き物調査一覧」

③の資料は福嶋昭治さんがまとめてくださった一覧をプリントアウトして、ご持参ください。

*活 動：10時30分集合の後、徒歩（約20分）にて生き物採集場所（近くにトイレ有）へ移動

11時～12時・・・生き物調査①生き物採取（採取した生き物を A～二枚貝、B～巻貝、C～甲殻類に分ける）

12時～13時10分・・・採取した生き物を、グループで同定する

グループで同定したら、「樹脂製ラベル」に黒の油性ペンで、生き物の名前を書く

その後、山田先生（甲殻類担当）・児嶋先生（貝類担当）から、「正しい名前の発表」と「見分け方のポイント」などを解説していただく

グループで行った同定が間違っていたら、黒の油性ペンで書いた「樹脂製ラベル」の裏に赤の油性ペンで正しい名前を書く

A～（甲殻類）（フジツボ・ヤドカリ・エビ・カニ） B～（二枚貝） C～（巻貝）

A～杉谷・伊藤（隆）・金戸・河合・秦・福嶋（昭）・森・山下

B～浅野・伊藤（春）・大石・木村・権野・荘村・万井・倭

C～福嶋（明）・金高・川端・東川・西井・藤井・壺三・山本

13時10分～13時30分・・・昼食

13時30分～14時30分・・・アマモ場での生き物調査②・同定～初めてなので山田先生からの指導
片付けをし、歩にて岡田浦駅へ（解散） 15時30分頃

*前日17時の天気予報で、大阪の降水確率が50%以上の時は中止とします。

中止の時は、前日の18時にメールでお知らせしますので、ご注意ください。